

2006 年度

科目名 教育福祉特講	対象学科・学年 専攻科教福(専)1 回生	担当者 山本啓介 岡崎裕子 農野寛治
授業テーマ 「よく生きる」well-being 社会の形成と「教育」の本質		
授業の概要と目標 すべての人が、この社会で大事にされ、支え合い、『「よく生きる」well-being 社会』を形成していくことは、人類すべてに課せられた共通の究極目標である。well-being (福祉) は、人の「生き方」そのものに課せられた命題であり、教育が求める本質そのものである。本講義では前半を、学校教育に位置する「福祉の教育」について研究をすすめる。後半では、教育と福祉の両領域における現代的ニーズをとりあげ、実態把握、社会的背景の分析を試みる。さらに、具体的対応に関する教育的アプローチと社会福祉のリソース利用を学習する。 教育学教員と社会福祉学教員が担当する本講義の特色をいかし、両領域からの最新情報や、教育と福祉の連携のあり方について検討をすすめると同時に、福祉社会を構築しそれを支えて生きる「人のありよう」について、「人間と福祉」からの考察をすすめる。		
評価方法 日常の学習姿勢・態度、教育小論文・課題報告書、模擬授業の学習実績、定期試験、などをもとに総合的に評価する。		
テキスト 幼稚園教育要領、小学校学習指導要領、中学校学習指導要領	著者 文部科学省	出版社 独立行政法人印刷局
参考書 適時、紹介する。また、資料は必要時に配布する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 I. 「教育の本質」と福祉教育 (1)学校における福祉教育の意義 (2)福祉教育がめざす目標 (3)小学校における福祉教育の意義 (4)中学校における福祉教育の意義 (5)高等学校福祉科の教育 II. 学習指導要領と「福祉」の学習指導 (6)全体活動としての「福祉」の学習と指導 (7)各教科にある「福祉」の学習と指導 (8)道徳にある「福祉」の学習と指導 (9)特別活動にある「福祉」の学習と指導 (10)総合的な学習の時間にある「福祉」の学習と指導 III. 「福祉教育」の推進と方法 (11)学校教育課程・福祉教育の管理と運営 (12)保護者との連携活動 (13)地域社会との連携活動 (14)福祉施設との連携活動 (15)研修と資質能力の向上 IV 子どもの問題を抱える家族へのソーシャルワーク (1) ソーシャルワーク概説 (2) エコロジカル・アプローチ (3) 模擬事例の検討 (4) 相談支援 (5) 所属機関での体制をとる (6) 連携機関 (7) まとめとして 対人援助における倫理観 V 障害児教育・特別支援教育の現状と課題 (1)(2) 現状の分析 (3)(4)(5) 指導法をめぐって (6)(7) 課題と対応 VI 総括		